（貸借対照表の注記事項）

⑴　運営費交付金で充てるべき退職一時金に係る退職給付引当金の見積額は2,976,464千円です。

⑵　当期の運営費交付金により財源措置が手当されない引当外賞与見積額は202,691千円です。

⑶　減損の兆候

①　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価格等の概要

用途	種類	場所	帳簿価格
通信設備	電話加入権	豊橋市天伯町雲雀ヶ丘１－１	715千円

②　認められた減損の兆候の概要

電話加入権については、市場価格が著しく下落したため、減損の兆候が認められました。

③　減損の認識に至らなかった理由

電話加入権については、減損の兆候があり、市場価格の回復の見込みがないため減損の認識を試みましたが、算定の結果、回収可能サービス価格が帳簿価格を上回るため、減損処理金額は生じておらず、減損の認識に至りませんでした。

（キャッシュ・フロー計算書の注記事項）

⑴　資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	2,531,451千円
うち定期預金	400,000千円
（差引）資金残高	2,131,451千円

⑵　重要な非資金取引

無償譲与の受入による資産の取得	92,018千円
無償譲与の受入による消耗品の取得	6,969千円

（重要な債務負担行為）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

附　属　明　細　書

⑴　固定資産の取得及び処分、減価償却費（「第83　特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）並びに減損損失の明細

（単位：千円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建物	9,957,359	721,015	0	10,678,374	2,323,940	448,129	—	—	—	8,354,434	
	構築物	334,549	30,758	—	365,306	188,430	29,937	—	—	—	176,876	
	機械装置	3,325	—	—	3,325	1,513	543	—	—	—	1,813	
	工具器具備品	517,104	—	5,896	511,208	433,381	43,235	—	—	—	77,827	
	計	10,812,337	751,772	5,896	11,558,214	2,947,264	521,844	—	—	—	8,610,950	
有形固定資産（特定償却資産以外）	建物	329,644	284,454	—	614,098	70,455	22,170	—	—	—	543,642	
	構築物	9,798	36,423	—	46,222	880	536	—	—	—	45,342	
	機械装置	164,235	10,815	—	175,050	130,899	57,146	—	—	—	44,150	
	工具器具備品	3,174,694	456,341	254,995	3,376,041	2,583,994	583,688	—	—	—	792,048	
	図書	1,295,280	15,555	15,842	1,294,993	—	—	—	—	—	1,294,993	
	車両運搬具	7,499	1,439	—	8,937	7,107	1,593	—	—	—	1,830	
	計	4,981,150	805,028	270,837	5,515,341	2,793,335	665,134	—	—	—	2,722,006	
非償却資産	土地	9,639,354	—	—	9,639,354	—	—	—	—	—	9,639,354	
	美術品・収蔵品	6,464	—	—	6,464	—	—	—	—	—	6,464	
	建設仮勘定	11,309	370,022	380,491	840	—	—	—	—	—	840	
	計	9,657,127	370,022	380,491	9,646,658	—	—	—	—	—	9,646,658	